

## 次期「広島県がん対策推進計画（骨子案）」における分野別対策

取組の主体 ◎：推進主体 ○：支援・協力

施策分野	方向性	取り組むべき対策	取組の主体							参考指標等 ※部会等で詳細検討			
			県	市町	拠点病院	その他医療機関	職能団体等	企業	患者・家族	県民	項目	現状	次期計画で達成すべき目標 (素案)
がん予防	たばこ対策の強化	普及啓発の推進	◎	◎	○	○	○	○			喫煙率の減少	・男性 26.9% ・女性 5.5%	※健康ひろしま 2.1 推進協議会において検討する。
		喫煙者に対する禁煙支援	○	◎	○	◎	○	◎					
		受動喫煙の防止	◎	◎	○	○	○	○					
	生活習慣の改善	食生活習慣の改善	◎	◎			○	○			・1日の脂肪エネルギー比率の減少 ・1日の野菜摂取量の増加 ・1日の食塩摂取量の減少 ・朝食欠食率の減少	・26.7% ・261g ・10.9g ・20歳代男性 39.1% ・20歳代女性 27.6% ・30歳代男性 28.1%	
		適切な運動習慣の確立に向けた普及啓発・支援	◎	◎			○	○			・運動習慣のある人の割合の増加 ・1日の歩数の増加。	・40～70歳男性 17.8% ・40～70歳女性 15.0% ・成人男性 6,882歩 ・成人女性 6,897歩	
		適正飲酒に関する普及啓発	◎	◎			○	○			・多量飲酒者の減少 ・禁酒・断酒指導実施市町	・成人男性 4.2% ・成人女性 1.0% ・16市町	
	感染症対策の強化	肝炎に対する正しい知識の普及啓発	◎	◎	○	○	○	○			・職域の肝炎ウイルス検査実施体制の整備	・整備済み施設 33%	・整備済み施設 50%以上（平成28年度） ・HBVキャリア：60%以上（平成28年度） ・HCVキャリア：75%以上（平成28年度）
		肝炎ウイルス検査の受検促進	◎	◎	○	○	○	◎			・肝炎ウイルス検査で発見されたHBV・HCVキャリアの受診率の向上	・HBVキャリア：48% ・HCVキャリア：65%	
		病態に応じた適切な肝炎医療の提供	◎	○	○	○	○	○					
		子宮頸がん予防ワクチン接種率の向上	○	◎	○	○	○			◎	・接種率の向上	・接種率 77.0%	

次期「広島県がん対策推進計画（骨子案）」における分野別対策

取組の主体 ◎：推進主体 ○：支援・協力

施策分野	方向性	取り組むべき対策	取組の主体							参考指標等 ※部会等で詳細検討			
			県	市町	拠点病院	その他医療機関	職能団体等	企業	患者・家族	県民	項目	現状	次期計画で達成すべき目標 (素案)
がん検診	がん検診の精度向上	効果の高いがん検診の実施	○	◎	○	○	○	◎			・精度向上に向けた事業評価項目（チェックリスト）の実施状況 ・精密検査の未把握率・受診率  ※いずれも検診5がんごと（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん）	・チェックリスト8割達成市町数(H23)：胃10, 肺7, 大腸9, 子宮9, 乳8 ・精検未把握率(H21)：胃16.0%, 肺16.8%, 大腸22.2%, 子宮36.2%, 乳26.1% ・精検受診率(H21)：胃77.0%, 肺76.7%, 大腸65.3%, 子宮58.3%, 乳70.8%	・全市町がチェックリスト○割達成  ・精密検査の精検未把握率○%以下, 精検受診率○%以上
		がん検診に対する理解の浸透	◎	◎	○	○	○	○					
	がん検診の受診率向上	受診実態の把握	◎	○	○	○	○	○			・検診受診率（又は受診者数）（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん）	・地域保健・健康増進事業報告(H22 市町が実施する検診)：胃10.8%, 肺16.3%, 大腸15.6%, 子宮28.7%, 乳25.1% ・国民生活基礎調査(H22)：胃30.5%, 肺21.9%, 大腸22.7%, 子宮33.6%, 乳29.7% ・県内医療機関調査(H22)：胃22.6%, 肺38.8%, 大腸25.3%, 子宮14.6%, 乳13.8%	・がん検診の受診率○○%以上 (受診者数○○%増)
		幅広い人材を活用した受診勧奨体制	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
		受診しやすい環境づくり	○	◎	○	○	○	○					

次期「広島県がん対策推進計画（骨子案）」における分野別対策

取組の主体 ◎：推進主体 ○：支援・協力

施策分野	方向性	取り組むべき対策	取組の主体							参考指標等 ※部会等で詳細検討				
			県	市町	拠点病院	その他医療機関	職能団体等	企業	患者・家族	県民	項目	現状	次期計画で達成すべき目標 (素案)	
がん医療	医療提供体制の充実・強化	がん診療連携拠点病院の機能強化	◎		◎	○					・ キャンサーボード組織数、実施回数 ・ セカンドオピニオン対応事例数 ・ 専門医等の配置		・ ・ ・	
		医療ネットワークの効果的な運用と県民への情報提供	◎		◎	◎	◎				・ 拠点病院の連携パスを適応した患者延数 ・ (仮称) がん対策サポートドクター、サポート薬剤師育成数	・ 114件(2ヶ月) ・ 平成24年度育成開始	・ 〇件(2ヶ月) ・ サポートドクター〇名、サポート薬剤師〇名	
		・ 5大がん以外のがんの医療体制の現状把握と県民への情報提供 ・ 小児がんの医療体制の現状把握と県民への情報提供	◎	○	◎	○	○				・ 医療提供状況の県民への情報提供			
	医療内容の充実	専門医療の充実	(放射線療法) ・ 高精度放射線治療センター(仮称)整備による全県レベルでの放射線治療の機能分担と連携 ・ 治療医・医学物理士・技師・看護師の人材育成と施設内の適正配置	◎		◎	◎	○				・ 高精度放射線治療センター(仮称)の運営 ・ 放射線治療の機能分担と連携	・ 高精度放射線治療センター(仮称)整備準備中 ・ 放射線治療機能分担と連携について検討中	・ 高精度放射線治療センター(仮称)の運営 ・ 放射線治療の機能分担と連携体制の構築
			(化学療法) ・ がん薬物療法専門医や専門薬剤師の適正配置による安全で適切な化学療法の実施	◎		◎	○	○				・ 拠点病院のがん薬物療法専門医、がん薬物療法認定薬剤師配置割合	・ 専門医：7病院/16病院 ・ 認定薬剤師 11病院/16病院	・ 全拠点病院にがん薬物療法専門医、がん薬物療法認定薬剤師を配置
			(手術療法) ・ 手術の標準化に向けた評価とエビデンスのある手術療法を普及	◎		◎	○	○						
			(病理診断) ・ 病理医の育成 ・ 病理診断の情報ネットワーク化の検討	○ ◎		◎ ○		○ ○				・ 拠点病院の常勤病理医の配置 ・ 病理診断の情報ネットワーク化の検討	・ 5圏域/7圏域	・ 全圏域に配置
	口腔ケアの提供	・ 医科歯科連携による治療前から治療中、治療後の継続した口腔ケアの提供	○		◎	◎	◎							

次期「広島県がん対策推進計画（骨子案）」における分野別対策

取組の主体 ◎：推進主体 ○：支援・協力

施策分野	方向性	取り組むべき対策	取組の主体							参考指標等 ※部会等で詳細検討			
			県	市町	拠点病院	その他医療機関	職能団体等	企業	患者・家族	県民	項目	現状	次期計画で達成すべき目標 (素案)
緩和ケア (1) たネットワークの充実	医療機関等の実施体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>緩和ケアチームの量的充足と質的向上 がん患者が、住み慣れた地域で、希望に応じた緩和ケアが受けられる体制を整えるため、すべての二次医療圏で緩和ケアチームの量的充足を図るとともに、緩和ケアチームの活動内容について、県民への情報提供等を推進。</li> </ul>	◎		◎	◎					<ul style="list-style-type: none"> <li>緩和ケアチームを全ての二次医療圏に複数配置</li> <li>緩和ケアチームの活動内容について、県民への情報提供等を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緩和ケアチームは、<u>広島中央圏域を除く</u>二次医療圏に複数配置済</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広島中央圏域における緩和ケアチームの複数配置</li> <li>緩和ケアチームの活動実績の把握・公表による見える化</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>緩和ケア外来の質的向上 全拠点病院で設置している緩和ケア外来の活動内容について、県民への情報提供等を進め、がん患者の意向を踏まえ、住み慣れた家庭や地域での療養を選択できる環境づくりを推進。</li> </ul>	◎		◎	◎				<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点病院における緩和ケア外来の活動内容について、県民への情報提供等を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緩和ケア外来は、全拠点病院に設置済（11病院）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点病院における緩和ケア外来の活動実績の把握・公表による見える化</li> </ul>	
	ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点病院を中心としたネットワークの構築 拠点病院を中心としたネットワークの構築を図るため、在宅緩和ケア資源マップの作成や地域連携クリティカルパスの整備・活用を推進。</li> </ul>	○		◎	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅緩和ケア資源マップの作成</li> <li>地域連携クリティカルパスの整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次医療圏によっては、紙ベースによる在宅緩和ケア資源マップを整備済</li> <li>地域連携クリティカルパスは未整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅緩和ケアの電子資源マップを、全ての二次医療圏で整備し活用を推進</li> <li>地域連携クリティカルパスを全ての二次医療圏で整備し活用を推進</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>緩和ケア支援センターによる支援の強化 整備にあたっては、緩和ケア支援センターが、広島県共通モデル化について支援。</li> </ul>	◎		○	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>広島県共通モデルによる在宅緩和ケア資源マップ及び地域連携クリティカルパスの整備・活用を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源を「点」から「線」、「面」にしていく取組を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広島県共通モデルによる在宅緩和ケア資源マップ及び地域連携クリティカルパスが、全ての二次医療圏で整備・活用</li> </ul>	
	在宅緩和ケアの支援機能の充実	在宅緩和ケアに係るコーディネート機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅緩和ケアに係るコーディネート機能の強化方策について検討 緩和ケアは、がんと診断された時から、様々な場面において切れ目なく実施される必要があるため、在宅緩和ケア資源マップなどの活用を図り、在宅療養が円滑に実施できる体制を整備。</li> </ul>	○		◎	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅緩和ケア資源マップなどの活用による選択できる環境づくりの推進</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん診療連携拠点病院等から在宅への流れの円滑化</li> </ul>
		地域における顔の見える関係づくりを推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療・介護・福祉間の顔の見える関係の構築 地域において質の良い緩和ケアを提供するため、地域の全ての関係機関（医療機関、地域包括支援センター、薬局、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、介護保険施設、行政機関等）の参画による事例検討会、研修会等を実施し、医療・介護・福祉関係者の顔の見える関係づくりに取り組む。</li> </ul>	○		○	◎			<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の全ての関係機関（医療機関、地域包括支援センター、薬局、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、介護保険施設、行政機関等）の参画による事例検討会、研修会等の実施</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の全ての関係機関による顔の見える関係の構築</li> </ul>	
		在宅緩和ケアに係る支援機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅緩和ケアに係る支援機能の充実 がん患者の在宅療養を支援するため、拠点病院等において、緊急時等の後方支援機能や日常の相談機能を確保する方策について検討。</li> </ul>	◎		◎	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時等の後方支援機能の確保</li> <li>日常の相談機能の確保</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての二次医療圏で、緊急時等の後方支援機能及び日常の相談機能を確保</li> </ul>	
		介護保険施設での緩和ケアの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険施設での緩和ケアの推進 介護保険施設での緩和ケアの推進を図るため、『介護保険施設等における看取りマニュアル』を活用した介護保険施設へのアドバイザー派遣などを実施。</li> </ul>	◎		◎	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>『介護保険施設等における看取りマニュアル』を活用した介護保険施設へのアドバイザー派遣などの実施</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての二次医療圏で、『介護保険施設等における看取りマニュアル』を活用した介護保険施設へのアドバイザー派遣などの実施</li> </ul>	

次期「広島県がん対策推進計画（骨子案）」における分野別対策

取組の主体 ◎：推進主体 ○：支援・協力

施策分野	方向性	取り組むべき対策	取組の主体							参考指標等 ※部会等で詳細検討				
			県	市町	拠点病院	その他医療機関	職能団体等	企業	患者・家族	県民	項目	現状	次期計画で達成すべき目標 (素案)	
緩和ケア (2)	実践に向けた更なる人材育成	多職種人材育成の充実	◎		◎	○						実践を伴う研修、多職種研修、訪問指導の強化・充実	—	
		緩和ケア医師研修の質の充実等	◎		◎	○						緩和ケア医師研修修了者へのフォローアップ研修を実施 在宅医にも参加しやすい運用の工夫等（医師会等の主催による開催等）について検討	1,013人修了（H24.2暫定値）	がん診療に携わる全ての医師が研修を受講するとともに、そのうち○割がフォローアップ研修を修了 研修主催者の多様化等を図り、在宅医等の研修参加を○倍に
		早い段階からの緩和ケアを取り入れた教育・研修の実施	◎		○	○						在学時からの緩和ケア教育及び研修医への緩和ケア研修等の導入について検討	—	早い段階からの緩和ケアを取り入れた教育・研修の実施により研修修了者を平成23年度までの修了者の○倍に
	県民理解の更なる推進	理解を深める取組の実施	◎		○	○						広く県民や医療従事者に対する講演会等を患者視点を取り入れ実施	—	
		評価・反映方法の検討	◎		○	○						評価方法と、その反映の仕方についての検討に着手	—	県民意見の反映
	な取組の確実な推進	広島県緩和ケア支援センターの拠点機能の強化	◎		○	○						研修マネジメント等による人材育成拠点 拠点病院を核としたネットワーク強化のための支援拠点 在宅医療に必要な連携を担うコーディネート拠点として、県全体の総合的な取組を確実に推進。	—	

次期「広島県がん対策推進計画（骨子案）」における分野別対策

取組の主体 ◎：推進主体 ○：支援・協力

施策分野	方向性	取り組むべき対策	取組の主体							参考指標等 ※部会等で詳細検討			
			県	市町	拠点病院	その他医療機関	職能団体等	企業	患者・家族	県民	項目	現状	次期計画で達成すべき目標 (素案)
情報提供・相談支援	情報を提供する様々な主体と連携した情報提供の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関、患者団体、行政の連携強化に加え、学会や民間企業等の力を積極的に導入したきめ細かい情報提供促進</li> <li>拠点病院、患者団体等の公開講座等の広報支援</li> <li>情報提供に積極的な協力民間企業等を表彰し積極的に評価</li> </ul>	◎	◎	◎	◎		◎	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>民間企業・団体の表彰数</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>表彰民間企業・団体数 5団体/年 累計25団体</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>患者団体、拠点病院内の診療科あるいは拠点病院の「相談支援センター」間相互の情報共有や協力体制の充実</li> <li>相談支援センターと、地域の医療機関（主治医）との定期的な情報交換会の実施等による連携強化を推進</li> </ul>	○	○	◎	◎			◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点病院、患者団体の公開講座等開催数</li> <li>相談支援センターと、地域の医療機関（主治医）との定期的な情報交換会の開催等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点病院○○回 患者団体○○回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民等向け公開講座等開催数増</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>患者サロンの利用者の声や、がん患者とその家族等が元気になる情報など、がん患者・家族を含めた県民のニーズを踏まえた掲載情報の充実</li> <li>「広島県がん検診推進員」を情報提供の担い手としても活用</li> <li>インターネットを利用しない県民に対する紙媒体での情報提供の推進</li> </ul>	◎	◎	◎	◎		○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん検診推進員の活用</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん検診推進員全員を活用し、きめ細かい情報提供を推進</li> </ul>
相談支援の充実	相談支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉士を含む相談員の資質向上</li> <li>相談支援センターと、地域の医療機関（主治医）との定期的な情報交換会の実施等による連携強化を推進（再掲）</li> <li>相談内容等の集計方法統一による、がん患者とその家族のニーズを踏まえた体制整備</li> </ul>	○	○	◎	◎					<ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援センターと、地域の医療機関（主治医）との定期的な情報交換会の開催等【再掲】</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての相談支援センターで実施し、拠点病院を除く医療機関からのがん患者等の相談支援センター利用者増【再掲】</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>患者団体の患者サロン等設置の一層の推進やがん患者フレンドコール継続実施に加え、患者サロン、がん患者フレンドコール等の利用者による口コミ掲示板等の開設推進</li> <li>ピア・サポートとして相談支援を行う人材を育成し、相談支援センターと連携したがん相談の推進</li> <li>相談員の資質向上や相談を受けることによる精神的疲労を軽減するための研修会開催等を支援</li> </ul>	◎	○	◎				◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピア・サポート人材の養成数</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての相談支援センターに複数配置し、がん患者とその家族の不安を軽減</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援センターや患者団体等の地域イベント・行事等への積極参加による地域住民への啓発活動推進</li> <li>利用者による口コミ掲示板の開設などの新たな取組を推進</li> </ul>			◎	◎			◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者団体が連携した合同イベント開催や各種イベントへの合同出展</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携イベントを実施し、患者団体活動を強化</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>患者団体のネットワーク化や、患者団体の相互連携による合同研修会・公開講座、あるいは地域イベント等への合同出展等を推進</li> </ul>	○	◎	○			○	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>患者団体等と連携した拠点病院における学校等での出前講座実施</li> <li>患者団体活動への学生ボランティアの参画</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての拠点病院において出前講座を実施するとともに、がんネットに掲載するすべての患者団体の活動で、学生ボランティアが参画し、がんに対する正しい理解を促進する。</li> </ul>
がん教育の推進	がんに対する正しい理解に向けた取組推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者団体と連携し拠点病院が行う学校等での出前講座などの取組を積極的に推進</li> <li>患者団体活動への学生ボランティア参画を推進</li> <li>子どもによる家庭内への知識等の還元を通じた、親世代へのがんに対する正しい理解と、がん向きあう心と知識の醸成を推進</li> <li>医療機関、患者団体、行政の連携強化に加え、学会や民間企業等の力を積極的に導入したきめ細かい情報提供促進（再掲）</li> </ul>	◎	◎	◎	◎		◎	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者団体等と連携した拠点病院における学校等での出前講座実施</li> <li>患者団体活動への学生ボランティアの参画</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての拠点病院において出前講座を実施するとともに、がんネットに掲載するすべての患者団体の活動で、学生ボランティアが参画し、がんに対する正しい理解を促進する。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての相談支援センターで、就労をはじめとする社会的な問題に関する相談に対応できるよう社会福祉士配置を促進</li> <li>相談支援センターごとに、地域のハローワーク等の関係機関との連携強化を推進</li> <li>企業や医療機関等の協力によるモデル事業等の実施や、就労支援の取組に協力する企業を積極的に評価し、医療機関と事業者等が仕事あるいは治療に配慮できる仕組みの構築に向けた取組を促進</li> </ul>	○	◎	◎	◎		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援センターにおける社会福祉士の活用</li> <li>民間企業・団体の表彰数</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての相談支援センターに社会福祉士配置し、がん患者とその家族等の就労等の経済的問題に関する不安や悩みを軽減</li> <li>年1団体程度を表彰し、仕事と療養の両立支援を推進</li> </ul>	

次期「広島県がん対策推進計画（骨子案）」における分野別対策

取組の主体 ◎：推進主体 ○：支援・協力

施策分野	方向性	取り組むべき対策	取組の主体							参考指標等 ※部会等で詳細検討			
			県	市町	拠点病院	その他医療機関	職能団体等	企業	患者・家族	県民	項目	現状	次期計画で達成すべき目標 (素案)
がん登録	がん登録の精度向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域がん登録の協力医療機関の増加</li> <li>拠点病院の院内がん登録の充実（人材確保等体制整備）</li> </ul>	◎		◎	◎	◎				<ul style="list-style-type: none"> <li>地域がん登録のDCN</li> <li>地域がん協力医療機関数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2007年診断11.3%、2008年診断9.9%（上皮内がん除く）</li> <li>137施設（H24.7）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10%以下を継続（上皮内がん除く）</li> <li>（150施設）</li> </ul>
	がん登録担当者の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域がん登録担当者の資質向上による届出内容の精度向上</li> <li>院内がん登録の指導的人材の育成</li> </ul>	◎		◎	◎	◎				<ul style="list-style-type: none"> <li>地域がん登録協力機関の実務研修会（書き方説明会）修了証発行施設割合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>99/137施設（72.3%）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（80%）</li> </ul>
がん登録データの活用	生存率等の情報公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域がん登録データで得られた、5年生存率の全国比較、部位別分析、地域間比較を行い公表</li> <li>院内がん登録データから、施設ごとの生存率、治療件数等を公表</li> </ul>	◎	○			◎				<ul style="list-style-type: none"> <li>5年生存率・分析結果の公表</li> <li>各施設の生存率、治療件数の公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年生存率算定準備中</li> <li>公表施設なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国比較、部位別、地域間比較の公表</li> <li>全ての拠点病院で公表</li> </ul>
	がん対策の企画や評価への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域がん登録データから、具体的な分析を行い、がん対策や評価に活用</li> <li>【短期】がん検診の現状分析、早期発見の現状、医療提供体制</li> <li>【中・長期】市町検診台帳との連携し検診の精度管理への活用を検討</li> </ul>	◎	◎	◎	○	◎	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>データの分析と活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ活用の試行</li> <li>がん検診の評価</li> <li>がん医療の地域別受療動向</li> <li>小児がんの受療動向等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん検診の必要性、早期発見の現状、医療提供体制について分析し活用</li> <li>市町検診の精度評価への活用を検討</li> </ul>
	がん登録データ分析体制の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん登録データの分析を継続して行える体制を検討（電子化等効率的に情報収集するしくみ、解析拠点等）</li> </ul>	◎				○				<ul style="list-style-type: none"> <li>分析体制の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ活用の試行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分析体制の検討</li> </ul>
	研究へのデータ活用の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学等の研究者によるがん研究への活用促進</li> </ul>	◎				◎				<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の利用件数の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料利用申請件数7件（H21—23年度平均）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10件以上（年度の平均）</li> </ul>
	県民への情報提供と理解促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録データを活用した情報発信の強化と県民の理解促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民へがん検診やがん医療に関する情報を提供し、がん登録に対する理解を促進</li> </ul>	◎	◎	◎	○	◎			<ul style="list-style-type: none"> <li>死亡、罹患データ、生存率等の情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>啓発パンフレットの作成、配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民への情報提供内容の充実</li> </ul>